

「園での生活の中には自分がやりたいと思う活動を自分で選ぶ機会がたくさんある」ということ…。
 「活動を選ぶ」＝「自分の意志を育てる」ことは「3.4.5歳児になってからかな」と思われる方も
 いらっしゃるようですが、実は0歳児の活動から始まっています。



0歳児は身近な大人（保育士）に見守られながら好きな（やりたい）遊びを楽しみます。
 安心できる大人が傍にいてやりたいことを見つけることができます。

ところで…「活動を選ぶ」ということは逆を言えば「選ぶ活動・選べる活動がある」ということです。
 園では大きく分けると室内での活動・戸外での活動の2つになりますが、どちらの活動もその子の年齢や発達に応じた「活動を選ぶ環境」が必要となります。この「環境」を子どもが「やってみたい」と興味や好奇心、探求心が芽生えるように作る（整える）ことを私たちは大切にしています。



モンテッソーリ教育の「教具」への取り組み

* 教具については後程紹介したいと思います

挑戦しようとする気持ちが芽生えます

身近な生き物に興味津々！

また子どもは、成長していくために何を獲得したいかを自ら求めています。
 例えば…0.1歳児は食事をする際、なかなかスプーンやフォークが上手く使えず、誰かの援助が必要となります。しかし「自分で食べたい」「食べれるようになりたい」と求めた時、「手や指を使う活動」を意図的に環境の中に取り入れることで繰り返し取り組み、だんだん自分の手指を上手くコントロールできるようになります。もちろん子ども自身は「これをすればご飯を食べるのが上手になる！」と頑張って取り組んでいるわけではありません。ただ、「面白い」と感じながら楽しんでいるのです。



2本の指でつまむ
パズル遊び



穴にひもを通す遊び
目と指の共同作業

▶▶▶
繰り返して…
取り組みたい…



フォークの握り方、
コントロールに変化が！



上手持ちから
下手持ちへ

こうした子どもの発達、自立を援助できる環境づくりを工夫し、子どもが求める事を読み取って環境をつくる
 ことが大切だと考えています。